

「特別の教科 道徳」が はじまりました

「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」として新たにスタートしました。

「特別の教科 道徳」になって、何か変わったの？

学校では、道徳科の授業を中心に、全ての教科等の授業をはじめ、学校の教育活動全体で子供たちの道徳性を養う取組を行っています。教科化されたことで、変わったことは、
・子供たち一人一人に配られる教科用図書(教科書)を使って、授業が行われること
・児童生徒の授業中の学びの姿や成長の様子を認め、励ます評価を行うこと です。

道徳科の評価はどのようになりますか？

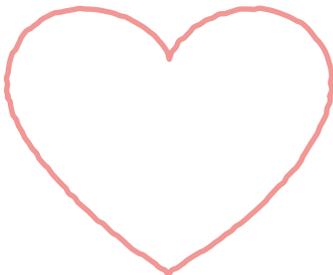
- ・他の教科と異なり、「3・2・1」など数値で評価するのではなく記述式で評価し、通知表等に記載してご家庭にお伝えします。
- ・子供たちが、自らの成長を実感し、更に意欲的に取り組もうとするきっかけになるような評価を行います。
- ・道徳科における評価については、中学・高校入試などに活用されることはありません。

道徳科ではどのような学習をするの？

道徳科で学習する内容は、児童生徒の道徳性を次のA～Dの4つの視点から捉え、右の♡のような内容項目を学習することになっています。
※小学校の内容項目を表したものです。



あなたの家庭で大切にしたい心は何ですか？
家族で話し合ってみましょう





家庭での道徳教育

家族との団らんが心を豊かにします

子供の話を受け止め、子供とのコミュニケーションを大切にしましょう。

- 「熊本の心」や「つなぐ」を一緒にお読みいただくなど、先人や郷土の伝統や文化について家族で語り合う。
- 学校行事や地域の活動、自然体験と一緒に参加する。 など



挨拶は人間関係を築く第一歩です

コミュニケーションの始まりとしての挨拶は、人間関係を築く力を育てます。

- 大人が率先して挨拶をする。
- 挨拶の大切さについて家族で話し合う。 など



手伝いによって自己有用感が高まります

子供に家事をさせると、自分は家族のために役立っているという自己有用感が生まれます。

- お風呂や室内の掃除、洗濯物たたみ
- 飼っているペットの世話 など



家族の語らいが共通理解を深めます

参観した道徳科の授業について家族で話題にして、一緒に考えることが大切です。

- 道徳科の授業で学習したことを家族で語り合う。
- 授業の感想を学校に伝える。 など



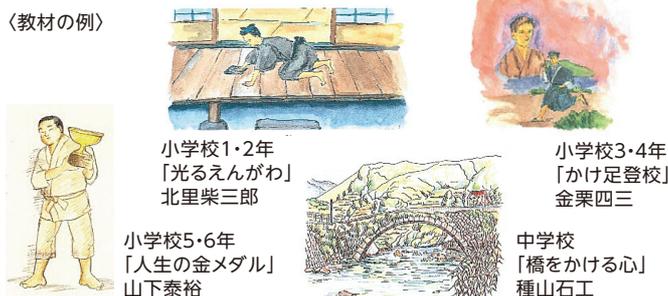
熊本県で作成している教材をご紹介します

道徳教育用郷土資料 熊本の心



私たちの郷土熊本は、豊かな自然をもち、その風土は、誇るべき伝統、文化の数々や幾多の偉大な先人を育んできました。そのような郷土のすばらしさを子供たちに伝え、郷土に対する愛着を深めることができるようにと作成した教材です。

〈教材の例〉



小学校1・2年
「光るえんがわ」
北里柴三郎

小学校5・6年
「人生の金メダル」
山下泰裕

小学校3・4年
「かけ足登校」
金栗四三

中学校
「橋をかける心」
種山石工

平成28年熊本地震関連教材 「つなぐ～熊本の明日へ～」



「平成28年熊本地震」後に見られた子供たちの思いや姿をはじめ、国・県内外からご支援いただいた方々への感謝の気持ちなどを決して風化させることなく、末永く語り継いでいくため、道徳科の授業をはじめ、学校の教育活動全体で活用できる教材として作成しました。

〈教材の例〉

小学校3・4年用教材「元気米」

熊本地震の経験を踏まえた、人・家族・地域とのつながりの大切さ、社会参画・公共の精神等を学ぶことができます。地震の影響が少なかった地域の子供たちが自分には何かを考え行動した「元気米」。熊本の子供たちの行動に感動と誇りを感じます。



これらの教材は、県内の小・中・義務教育学校や公立図書館などでご覧いただけます